

【問題】

近年、「体験格差」という言葉が話題となっています。「体験格差」とは、子どもたちが家庭環境や地域の違いによって得られる「体験」の機会に差が生じる現象を指します。ここで言う「体験」とは、学校外での習い事やスポーツ活動、旅行などの、教育的な体験や文化的な経験にアクセスする活動のことです。「体験格差」は、経済的背景や地域差が影響を及ぼすことが分かっていて、ある調査によると、低所得家庭の子どもの約3人に1人がこういった体験をしておらず、「体験」の機会は子どもたちにとって、とても大切なものであるといえます。では、学校外での習い事やスポーツ活動、旅行は、子どもにとってなぜ必要なのでしょうか。また、多くの子どものような「体験」の機会を与えるためにはどうしたらいいのでしょうか。「体験」ができないことによって生じる問題点を押さえた上で、自分自身の経験なども踏まえて、あなたの考えを600字以内で述べなさい。